



1俵分のモチをつく青年団

青年団

ホーム慰問

心のこもったモチつき

町青年団（実川隆宣団長）は、12月22日に老人ホームを慰問し、お年寄りが楽しみにしている恒例のモチつきを行いました。若者たちの威勢良く振り下る杵に合わせて、ヨイショ・ヨイショとかけ声が……まるでお祭ムード。つきあがった一俵分のモチは、おぞう煮やおしるこなどにして、心のこもったごちそうを味っていました。



大人としての自覚を新たに20歳の祭典

大きく羽ばたけ 次代の担い手たち

成人おめでとう

成人の日の1月15日、文化会館で大人の仲間入りをした新成人の門出を祝いました。今年、晴れて20歳を迎えた若者は192人（男92人・女90人）で、会場は未来に向かって大きく羽ばたこうと目を輝かせた若者たちの情熱、活気が漂い、華やかな雰囲気につつまれていました。



喜びいっぱい智恵ちゃん

少女剣士、智恵ちゃん 全国大会出場

12月25日、県武道館で行われた「千葉県スポーツ少年団剣道大会」で、横芝小5年の齊藤智恵ちゃんが小学生女子の部で見事に優勝し、3月29日から東京で行われる全国大会に、県代表として出場することになりました。ガンバッテね——。



里帰りしたサケの雄姿

史上2番目の記録

サケの回帰497尾

今シーズンは497尾のサケが栗山川に里帰り。これはもっとも多かった58年の770尾に次ぐ、史上2番目の記録です。千尾の大台はまたも夢と化しましたが、来シーズン一挙に大台突破といきたいものです。サケ君よろしくね！

古い病みて特養施設に送られし
 姫は吾の手とり離さず
 萩原 信一
 漣のたてる川面のきらめきて
 いましも月はのぼりそめ来ぬ
 吉岡 信子
 ようやくに危機をのがれて眠る夫
 窓をあからめ朝の陽さしくる
 秋葉 とく
 学びたる日の佛はなれども
 学校の側通れば恋ほし
 掛川 友代
 夕焼けに尾翼染まりし機をみれば
 異国に嫁ぎし姪の思はるる
 北田 ふじ
 紅葉の散りつくしたるかんば林
 富士五合目の雪風に佇つ
 向後 泰治
 筆洗ふ蛇口の水の冷めたさは
 闘志を吾に湧かしむるなり
 土屋 栗水
 木屋咲き終・山茶花とあひつぎて
 狭庭に季の移りは早し
 藤代 ゆう
 誕生日祝ひて二才の妹が姉にと
 うたふハッピーバスター・ツーユー
 伊藤 美穂
 道の端に霜にかりしコスモスが
 なおも咲きつぐ一輪、二輪
 津田 若菜
 機械音止みし夕べの川岸に
 東北訛りの会話聞こゆる
 （選者）齊藤つね子
 キヤンドルを点さんいまを青年と
 吾娘の眼差しひとつになりぬ